

# 日本ビクターへの出資と 戦略的業務提携 4社共同会見

株式会社ケンウッド  
代表取締役会長  
河原 春郎

2007年7月24日

# 背景とビジョン 日本の専門メーカーの勝ち残りへ

- \* デジタル化の波の中でグローバル競争激化
- \* 日本のコンシューマーエレクトロニクス産業、専門メーカーの存在感の薄れ
- \* 成熟産業の構造改革の最後の大仕事が専門メーカー再編

## 第一ステップ

日本ビクターへの出資 (200億円)

## 第二ステップ

経営統合の検討開始

日本の専門メーカー再編の歴史的第一歩へ

# 第一ステップ 日本ビクターへの出資 (200億円)

スパークス・グループとともに350億円を出資  
持分法適用未満でケンウッドには非連結

市販カーオーディオで世界No.1へ

## \* 戦略的業務提携

カーエレクトロニクス、ホーム / ポータブルオーディオ  
事業で提携を推進

## 日本ビクターの構造改革支援

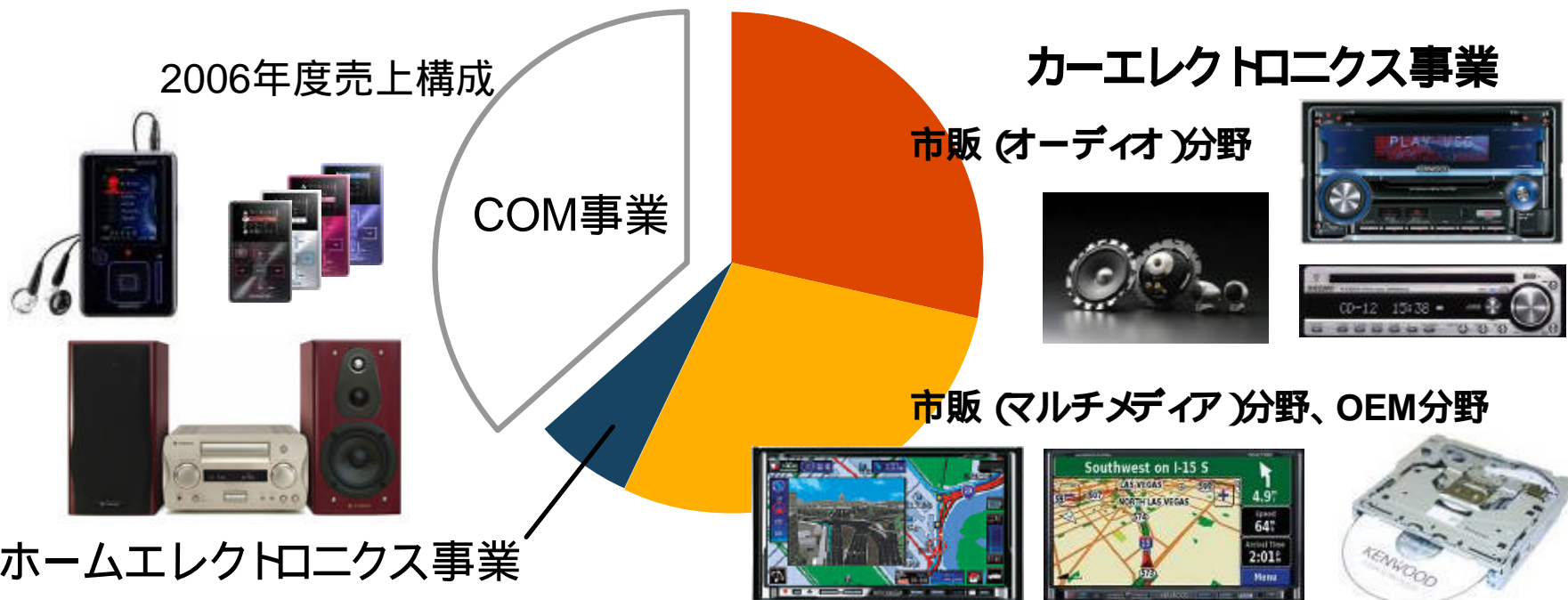
\* 構造改革への資金 (出資)

\* ケンウッドの再建の経験からのアドバイス

# 第一ステップ 戦略的業務提携による両社のシナジー効果

- \* **世界No.1へ**  
カーエレクトロニクス市販 (オーディオ) は1,000億円規模に倍増  
マルチメディア、OEMを含めて1,600億円規模
- \* **当社2/3の事業で提携** ~ ホーム / ポータブルオーディオ事業も含めて
- \* **両社の大きなシナジー効果** ~ JV等による共同開発、共同資材調達、相互製造委託、クロスライセンスなど

2006年度売上構成



COM事業 : コミュニケーションズ事業

## 第二ステップ 経営統合への検討開始

- \* 対等の精神での経営統合を目指す～両社の経営の安定を見届けて
- \* 日本の代表的な二つのブランドのもと、市場におけるイニシアティブを強化し、中長期的な企業価値創造 拡大へ

業界再編による日本の専門メーカーの勝ち残りへ

両社が目指す姿の一例



# 最後に

- \* スパークス・グループとの心強いタッグ
- \* 松下電器の日本ビクター筆頭株主としてのサポート



まさに関係者の**志**が一枚岩  
大変心強く 感謝



# KENWOOD

Listen to the Future

## 【注意】

本資料中の将来への見通しに関する記述・図表などは、当社グループが現時点で入手可能な情報から得た判断に基づく将来の予想および目標であり、実際の結果は、様々な要素により、これらの見通しとは大きく異なる可能性があります。